

使いやすいバス乗客は年間153万人



電話 550 - 4224

あきる野市議会総務委員会は、この間、武蔵野市の移送サービス「レモンキャブ事業」、相模原市のコミュニティバス、日野市のミニバス及びワゴンタクシー「かわせみG O」など他市の市内循環バス等の運行状況について視察調査を行ってきました。日本共産党市議団からは、山根とみえ議員が参加しました。今回は4月22日に行った日野市の視察について報告します。



ミニバス（ノンステップ車）36人乗り



ミニバス 37人乗り



小型バス 48人乗り

ミニバス14台 8路線毎日運行

日野市は、東西の交通機関は整備されているものの、南北の交通が発達していない状況にありました。そうした中、議会への請願をはじめ、多くの市民から要望が提出され、昭和61年8月、バス2台で運行を開始しました。その目的も単なる足の確保だけでなく、高齢者、障害者の外出応援や環境対策など幅広くして、他の空白地域にも次々と路線を増やしてきました。直近では平成21年5月にあらたな路線の運行を開始し、現在は8路線、バス14台で毎日運行、年間の乗客数は153万人に達したとの報告がされました。乗客が増えたことについて、シルバーバスが使えるため高齢者が多く利用していることなどが要因となっているということでした。

（運行車両）

| | 稼働台数 | 定員 | 車椅子対応 |
|--------------|------|-----|-------|
| 中型バス | 3台 | 55人 | スロープ |
| 小型バス | 4台 | 47人 | スロープ |
| ミニバス（ノンステップ） | 1台 | 36人 | スロープ |
| ミニバス | 5台 | 39人 | リフト |
| ミニバス（予備車） | 1台 | 39人 | 非対応 |

（運賃）

初乗り170円～470円（対キロ区間制）
シルバーバス使用可能

丘陵地ワゴンタクシー 「かわせみG O」

平成12年1月多摩モノレールの開通に伴い、一部路線バスの運行中止や便が減ってしまいました。そのため、あらたな交通不便地域を補うために平成13年12月、丘陵地ワゴンタクシーの運行を開始。道路が狭くミニバスの運行が困難な地域への交通機関の確保として導入。2路線、平日のみ運行で利用者は年間約3万人だそうです。

（運行車両）

10人乗りワゴン車3台（うち1台は予備車）車椅子非対応

（利用料金）

大人200円、子ども100円、未就学児無料、
利用対象者は特に限定はありません。



ワゴンタクシー「かわせみG O」

【感想】

武蔵野市、相模原市、日野市と視察したいずれの自治体も複数のバスで循環バスを走らせながら、他にバスが入れない地域などワゴンタクシーや移送サービスなどで足の確保を補っています。当市でも、こうした他市の状況を参考に、改善をしていくことが必要だと改めて感じました。

—— 法律相談 ——

5月26日（水）午後1時30分～3時

予約が必要です。市議団までご連絡下さい。